

田代ため池 地震時ハザードマップ

ハザードマップの見方

◆浸水の深さ

◆凡例

- 市指定避難場所
- 避難場所
- 危険箇所
- 崖崩れ・地滑り
- 洪水到達時間
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 道路
- 警察関係
- 病院
- 消防関係
- 小中学校

田代ため池 諸元

名称	田代ため池
貯水量	4,000m ³
堤高	3.8m
堤長	93.8m
天端幅	3.4m

避難勧告等がだされたら速やかに避難

ひなんかんこく すみ ひなん

避難行動の心得

想定される浸水の深さを確認しましょう。

- 3m以上の浸水**
 - 2階以上が浸水
 - 水流が強い場合は、木造住宅が倒壊する危険がある
 - 避難が遅れると命の危険が非常に高い
- 0.5m～3mまでの浸水**
 - 1階部分が浸水
 - 強い水流の中を歩くことは危険
 - 避難が遅れると危険な状態になる
- 0.5m未満の浸水**
 - 床下浸水
 - 大人のヒザ程度
 - 浸水の深さがヒザ上になると、歩行は危険

避難行動の心得

- 浸水しない場所**
 - 安全な場所へ移動する
 - 水平避難
- 2階以上の建物**
 - 近くの丈夫な建物の2階以上にとどまる
 - 垂直避難
- 自宅にとどまる**
 - むやみな移動はかえって危険
 - 屋内待機

※ハザードマップの注意点

このハザードマップに表示してある浸水想定区域は、一定の仮定を基に作成されたものです。地震の規模、雨の降り方や決壊の状況によっては浸水想定範囲等が異なることがあります。

- ◆日頃から家族やご近所で災害への対応について話し合い、家から避難場所までの経路や家族の連絡先などを確認しておきましょう。
- ◆浸水の発生しやすい場所や状況を日頃から把握し、危険を感じたら自主的な避難を心がけましょう。
- ◆みなさんが災害について関心を持ち、いざという時に落ちついて行動ができるよう、日頃から災害に関する正しい『心構え』を身につけておくことが大切です。

※避難時の心得

- ◇ため池が決壊する恐れのある時は、まず高い所などの安全な場所に避難する。
- ◇がけ地や川沿い、ため池の下流は避けて避難する。
- ◇近所と声をかけ合って、家族やグループで行動する。
- ◇スリッパ、サンダル、長靴は危険であり、できるだけ運動靴等で避難する。
- ◇車での移動は避ける。
- ◇安全を確認した後に避難場所へ移動する。

市指定避難場所一覧

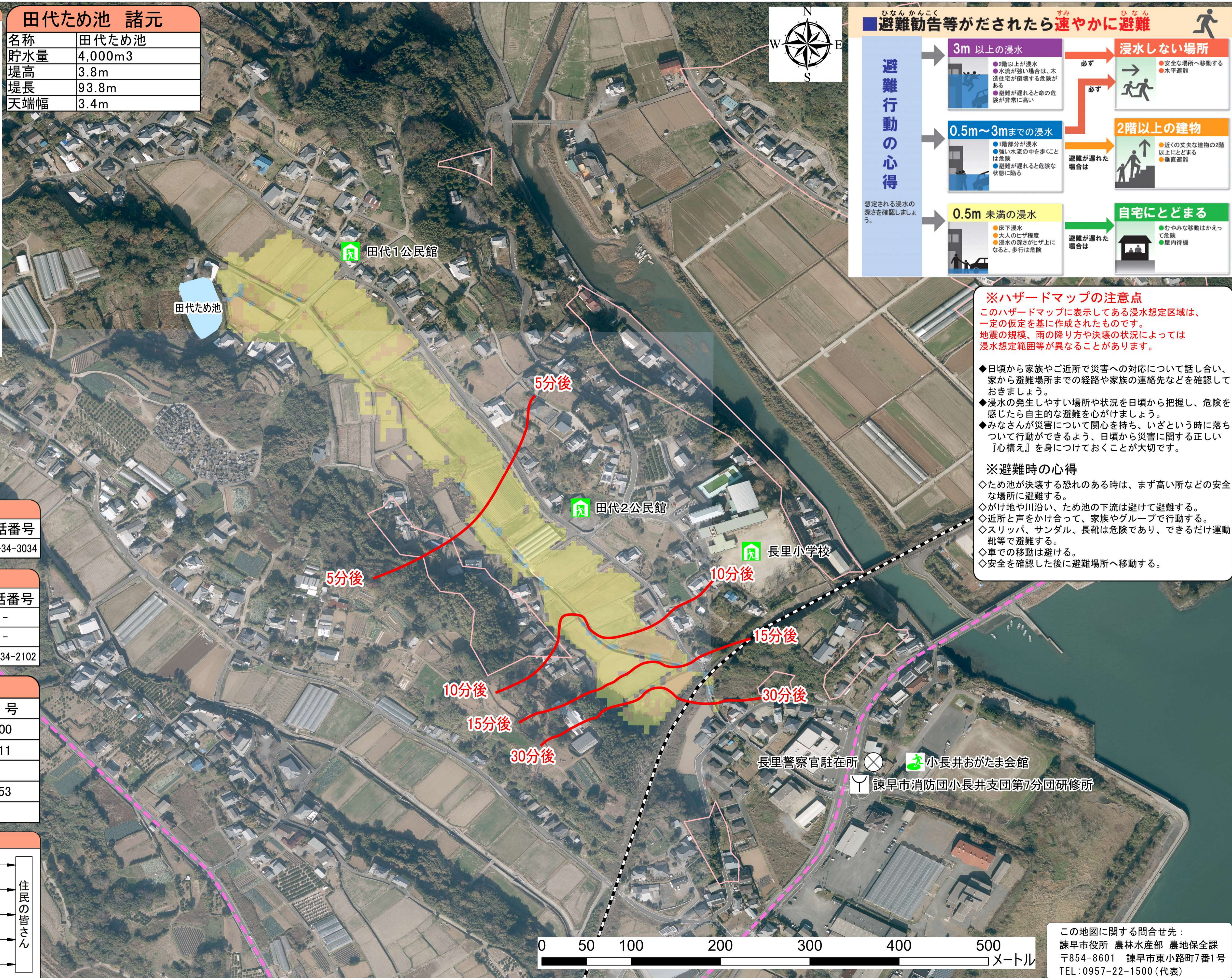
名称	住所	電話番号
小長井おがたま会館	小長井町大峰980-77	0957-34-3034

避難場所一覧

名称	住所	電話番号
田代1公民館	小長井町大峰180-3	-
田代2公民館	小長井町大峰78-1	-
長里小学校	小長井町大峰31	0957-34-2102

防災関係の連絡先

機関名	電話番号
諫早市役所代表	0957-22-1500
諫早市役所 小長井支所	0957-34-2111
警察署	110
諫早警察署 長里警察官駐在所	0957-34-2153
消防署	119



この地図に関する問合せ先：
 諫早市役所 農林水産部 農地保全課
 〒854-8601 諫早市東小路町7番1号
 TEL: 0957-22-1500 (代表)